

# 中心静脈カテーテル関連血流感染

2012年の中心静脈カテーテル留置のべ日数は前年と比較し、**481日増加**、中心静脈カテーテル関連感染患者数は**6件減少**、中心静脈カテーテル関連感染患者割合では0.15%減少という結果でした。カテーテル関連血流感染（catheter related blood stream infection）CRBSIはカテーテル局所の感染にとどまらず、全身の血液感染症に発展し、ときに致死的となることもあり、特に注意が必要です。中心静脈カテーテルは管理上、予防すべき最も重要な合併症であり、発生した場合には速やかな対策が必要となります。

	2011年	2012年
当月患者の中心静脈カテーテル留置のべ日数	5410	5891
当月の中心静脈カテーテル関連感染患者数	34	28
当月の中心静脈カテーテル関連感染患者割合	0.63%	0.48%

